

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター向島あづみ（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年11月18日 ~			2025年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2025年11月17日 ~			2025年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との関係性が良い。	送迎時の情報交換を必ず実施。学校や家の様子・事業所での様子を報告し合っている。 また、お会いできない方に対するSNSを利用した情報交換や質問の受付を行っている。	インスタグラムなどSNSへのページの設置と更新を行う。
2	事業所他部門に心理専門職員が配置されている。	他部門のペアレントトレーニングに放デイ保護者が参加して学習している。	放デイ独自でのペアレントトレーニングに実施。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブ・地域小学校との連携が少ない	障害児通所施設という性格上、児童クラブや地域小学校と交流することが利用にとってプラスになるとは思えないと感じている。	
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	児童発達支援センター向島あづみ（放課後等デイサービス）							
							公表日	2026年1月30日
							配布数	42 2025年12月1日 回収数 33
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	76%	12%	3%	9%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	70%	15%	0%	15%	たまにトラブル等で把握できていない感じることがある。	職員の補充に取り組みます。また、見守りの体制を再確認いたしました。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	67%	12%	0%	21%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	76%	15%	0%	9%		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	85%	6%	0%	9%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	79%	6%	0%	15%		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94%	3%	0%	3%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88%	6%	0%	6%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	91%	3%	0%	6%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	79%	9%	0%	12%	違ったことをしたと聞いたことがない。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	33%	15%	18%	34%		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	85%	12%	0%	3%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	88%	6%	0%	6%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	64%	9%	0%	27%		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	85%	9%	0%	6%	何を取り組んでいたのかだけでなく、子ども間でのコミュニケーションの状況を教えてほしいです。	保護者のニーズを把握するため聞き取りを行った。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	79%	12%	0%	9%	モニタリングでは子供の状況をとても詳しく教えて下さり凄く安心しました。	今後も適切なモニタリングに取り組んでまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	82%	12%	0%	6%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15%	24%	15%	45%		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	70%	9%	0%	21%		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	3%	0%	3%		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	79%	9%	3%	9%		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91%	6%	0%	3%		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	73%	6%	0%	21%		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45%	12%	0%	42%		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	82%	6%	0%	12%		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	70%	6%	3%	21%		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	97%	0%	0%	3%		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	85%	6%	0%	9%		
	29 事業所の支援に満足していますか。	88%	9%	0%	3%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター向島あづみ（放課後等デイサービス）	公表日 2026年1月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	クラスを二つに分けている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	25%	75%		専門職の配置を検討する必要がある。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	職員による清掃のほか、業者清掃日を定期的に設けている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	個人面談により、目標設定と実施状況について管理している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	必要に応じて会議を実施している。また、通常業務ではいつでも質問を受け付けることを原則としている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		今後、法人全体として検討する必要がある。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	75%	25%	法人全体で研修の機会を設けている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	整備・公表済み	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員全体で支援検討会議を実施、モニタリングの結果を受けた支援計画の評価、妥当性の検討を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		職員の経験年数によって十分とは言えない場面もある。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	チームによるプログラム立案会議を実施。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	外部講師を招いての訓練活動を実施。年に4回程度。	

供 給	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	必要に応じて都度実施している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		支援記録のソフトを導入したい
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	最低年2回のモニタリングを実施。その他必要に応じて開催している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	個別支援計画にそれぞれの領域の目標を盛り込んでいる。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管が参加している。	経験年数の浅い職員も同行し経験を積む必要がある。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%		体制は整えているが実際に必要とされるケースは少ない
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%	25%	行事予定は学校から配信されるようにしている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	全ての児童ではないが必要に応じて対応している。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	利用児が小学生のため移行支援の対象者がない。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	75%	25%	他の放課後等デイサービスとの共同活動を実施している。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%	必要に応じて管理者・児発管のほか児童指導員も参加している。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	公式ラインアカウントのチャットを使用し、個別に連絡をとれるようにしている。	質問に答える形での連携が多くなりがちである
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログ（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	法人全体の取り組みとして定期的に保護者向けの研修を実施している。	
・	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時、モニタリング時に説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	年に2回、要望等を記載し提出してもらう機会を設けている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的にはモニタリング時に実施。その他、必要に応じて随時実施している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	公式ラインアカウントのチャットを使用し、個別に連絡をとれるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	公式ラインアカウントのチャット機能及びコードモンを使用し、個別に連絡をとれるようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%	法人全体の取り組みとして定期的に保護者向けの研修を実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアルを全て作成しており、更新している。	家族等への周知が十分ではない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	月1回の避難訓練等を実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートにより聞き取りを実施。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	対応する体制は整えているが、該当者がいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	25%	家族等への周知が十分ではない。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット報告書を作成。事後方策の検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年に1度以上虐待防止、権利擁護研修の機会を確保している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	個別支援計画に明記。	